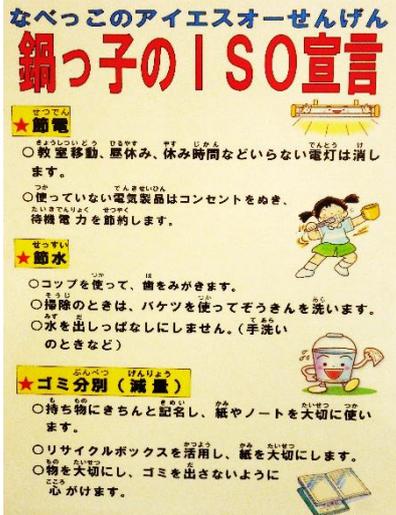


平成 29 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
玉名	玉名市	玉名市立鍋小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の様々な場所にポスターや宣言書を張り、啓発を行った。 ○ 全校集会で、これまで課題のあったゴミの分別方法について児童集会において美化委員会で発表し、燃えるゴミとリサイクルできる紙のゴミの分け方を劇で紹介した。併せて、無言掃除の大切さについても呼びかけた。無言掃除ができているかを定期的にチェックするために、美化委員会で手持ち用の看板を製作し、掃除時間に見回って呼びかけた。 
行動	 	<p>【クリーン登校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5・10・3月に登校時、通学路に落ちているゴミを拾う「クリーン登校」を実施している。 今年度は、前日に一斉下校を設定して、クリーン登校を呼びかけた上で、登校班ごとにビニール袋を3枚（おかしのごみ用、ペットボトル用、空き缶用）準備し分別収集を図った。その結果、登校班長を中心に全員が意欲的に活動し、昨年のおよそ10倍のゴミを集めることができた。結果の発表の際は、重さではなく、「～本」等の、低学年児童が量をイメージしやすい単位を用いた。 <p>【児童集会での呼びかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 美化委員会の発表により、リサイクルできる紙ゴミの量が減少するなど、児童のゴミの分別方法に改善が見られた。職員室でも同様に改善が見られる。 ○ ゴミ捨てチェック表を作り、ゴミがたまったままのクラスや掃除場所がわかるようにした。 ○ リサイクルできる紙のゴミ箱が古くなってきているため、児童のアイデア（①低・中・高学年で色分けする ②視覚的に分かりやすいマークをつけ、誰もが捨てるゴミを判断できるようにする）をもとに、現在リニューアル中である。



【潮干狩り前に海岸清掃】

○ 3年ぶりに全校児童で鍋松原海岸にて潮干狩りを行うことができた。

潮干狩り当日、干潟に入る前に、海岸の清掃を行った。普段、よく海岸に出かける児童も、そうでない児童もペットボトルや花火などのゴミの量に驚き、何気なく親しんでいる自然を見直すよい機会となった。

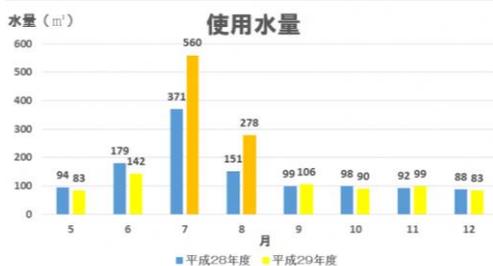
持ち帰ったゴミは、美化委員会の児童を中心に分別した。

【水道・電気使用量のグラフ化と掲示】

○ 全校児童に月別の水道使用量と電気使用量を知らせるために、美化委員会でグラフを作成し、児童の目につきやすい場所に掲示した。

グラフは、棒グラフにし、視覚的に分かりやすいよう工夫をした。グラフ用の色画用紙は、使い残しの端切れを再利用している。m³やKWhなどの単位が児童にとって分かりにくい単位であるため、誰もがわかりやすい表し方がないかを美化委員会の児童と検討中である。

記録



【水道使用量】

○ 前年度と今年度の月別の水道使用量を比較すると、5、6月は前年度と比べて水道使用量をおさえることができた。しかし、7、8月の使用量に課題が残った。

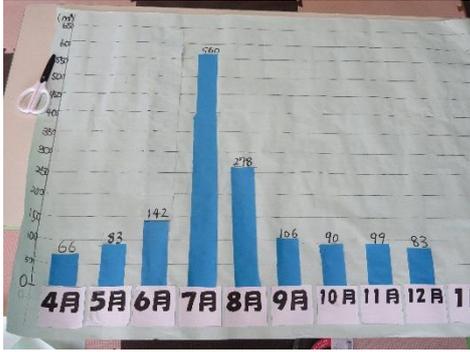
原因としては、プールに藻が生えた際、水を入れ替えたためだと考えられる。その後の月は前年度と比べて若干使用量が増えてしまい、結果として、目標としていた年間水道使用量2%減には至らなかった。

【電気使用量】

○ 電気使用量では、使用量の多い8月に昨年と比べて30%ほど減らすことができた。職員の意識の高まりによるところが大きい。

7月の使用量は、水道使用量ほどではないが前年を上回り、課題が残る結果となった。その他の月の使用量に関しても、昨年と比べて若干の増加が見られた。

年間で見ると目標の2%減には至らなかったが、前年比0.5%減という結果となった。

<p>見直し</p>		<p>【記録の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間の水道使用量と電気使用量をグラフにしたものを廊下に掲示した。いずれも夏場に使用量が増えてしまうことにどの児童も気付くことができた。 このグラフを活用し、来年度の目標設定に活かしていくとともに、美化委員会による定期的な呼びかけを推進する必要がある。 ○ 燃えるゴミと紙ゴミについて、ゴミ出しの前に重さを量って記録をとるとともに、1週間ごとのゴミ袋の使用量についてもグラフを作り、見える化をはかっていくようにする。
------------	---	---

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 美化委員会の発表により、ゴミ分別に対する意識が高まった。きちんと分別ができているクラスが増えている。 職員の意識の改善も進んでいる。分別の仕方にも改善が見られた。会議の資料はなるべく裏紙を使用するようになり、ストックされた裏紙が不足するようになってきた。また、紙ゴミも分別して捨てており、職員室からの燃えるゴミの量が大幅に減少している。 ○ 無言掃除は、美化委員会の児童が見回るようになってから、取り組む姿勢が変わりつつある。 ○ クリーン登校に向けた取組を工夫改善したことで、前年度より多くのゴミを集めることができ、児童の達成感を高めることができた。また、海岸のゴミ拾いとあわせて、鍋小学校区の自然環境に目を向けるよい機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏場の水道使用量と電気使用量に課題が残った。今回作成したグラフを元に節水・節電をいかに進めるか、美化委員会で検討を進め、今後も呼びかけていきたい。 ○ グラフが低学年の児童にも分かりやすいものではなかったため、どの学年も分かりやすいように配色や言葉についてさらに工夫を重ねていく。 ○ ゴミ分別に対する意識は高まりつつあるので、ゴミ袋の数を調べたりグラフを作ったりして、見える化を図っていきたい。 ○ 無言掃除は美化委員会の見回り活動により、改善が見られている。全学年での完全定着を目指して、今後も定期的にチェックを行うなどさらに取組を推進していきたい。